

第3回金山町廃校利活用検討委員会 議事録

- 日 時 令和3年3月4日(木)
19:00～20:38
- 場 所 金山町農村環境改善センター

【委員長挨拶】

斉藤徹史委員長

コロナの影響もあり半年ぶりの開催となった。本日は全ての委員の皆さんからご意見をいただき、実りある検討委員会にしたい。

【これまでの状況】

庄司紀一政策財政監

最上管内での新型コロナウイルス感染症の発生により第2回検討委員会は中止とし、書面で意見集約したことなど、前回開催までの経緯を説明。

【協 議】 斉藤徹史委員長座長

協議の冒頭、庄司紀一政策財政監が以下について資料に沿って説明。

(1) まとめ(資料3～7ページ)

- ①各学校の利活用基本方針
- ②避難所としての対応として
- ③明安小学校の利活用についての検討
- ④公共施設の在り方(中央公民館機能)
- ⑤その他

沼澤道也委員

文科省で廃校プロジェクトの話聞いてきて、民間での活用がポイントだと感じている。中央公民館機能を廃校のどこかに持ってくるというのも一つの方法だと思うが、かなり慎重に進めていかないと難しい状況が後々発生してしまうのではないかと懸念している。資料6ページに廃校プロジェクトから2～3件の問い合わせがあったとあるが、こういった要望に対してどのような話をしたのか、その後の交渉はどうなっているのかなど、もう少し詳しく教えてほしい。

庄司紀一政策財政監

明安小学校に問い合わせがあった。問い合わせがあったのみで、こちらから具体的に動いたということはない。今後、問い合わせをいただいている先に、こちらから働きかけすることも有効かと考える。(※個別の問い合わせ情報については省略)

沼澤道也委員

アプローチしてないということであれば何とも言えない。アプローチすることで、先の関係性が生まれる気がする。色んな情報が入ってきて可能性が広がっていくのではないか。最終的には話し合いの結果で、するかしないかを決めて良いわけなので、今後は積極的に問い合わせをしてよいのではないかと思う。中央公民館機能については、集約型ではなく分散型にするという町の考え方がないと難しいのではないかと思う。そこさえ整理できれば明安小学校の施設を有効に活用できる。分散型にすることで町民の思いがどのように変化するのか注意する必要がある。

阿部利広委員

一時避難所として、やくし苑と農村環境改善センターがあるが定員はあるのか。各廃校についても同様の条件を付して利活用が進むということであれば、それぞれに避難人数や広さなどの想定があると思うが、どうなのか。

後藤町民税務課長補佐

地域防災計画上、建物の面積にあたって1人につき3.3平方メートルで試算している。しかし、今はコロナの影響で間隔をとって避難所を開設する必要がある。計算上、やくし苑の収容人数としては、コロナ前は150人だが、コロナ対策を講じて間隔をとると61人しか避難できない計算になる。町の指定避難所に指定している各学校の体育館や地区公民館を含めると、収容できる避難人数は2,100人ちょっとである。全ての方が避難する必要があるのかを見極めて、避難指示や避難勧告を出す必要がある。現在、国でも比較的新しい自宅の2階に避難する「垂直避難」を推奨している。廃校後の施設についてどの程度まで使えるのか、また、廃校がなくなった場合にどこに避難するのかなどを合わせて検討する必要がある。

正野直弥副委員長

当初は状況が分からず「こんなことやりたい」「あんなことやりたい」と夢を持っていた。しかし、実際はなかなか難しいということも分かってきた。行政全般そうだが、大事なものは、町に住んでいる人、特に高齢の方が「金山に住んで良かった」と思えるやり方だ。新潟で廃校を活用して、キャビアを養殖している友人がいる。そのやり方が金山に合うかはわからないが、成功事例を見ることも勉強になると思う。一方で、希望を持ちすぎることも実態に合わないため、町が条件や活用案を提示して、町民に選んでもらう手法も一つではないかと感じている。

栗田伸一委員

検討委員会ということで、助言や意見する場であって、結論を出す場ではないと認識している。意見を出し合う、集約する会議といった意味では、皆さんそれぞれの立場からの意見を聞くことができ、一定の成果があったと感じている。次の段階として、廃校の利活用を決める会議があるのであれば、最後はお金なんだなと思った。逆に言えば、お金さえあれば物事が決まりそうだと、自分にとってはプラスにとれた会議になった。

半田季三子委員

あくまで現場の立場だが、明安小学校は子どもたちと町民の皆さんなど多くの方が活用できる施設になってほしい。学童保育の拠点であるめばえの森も老朽化しているし、放課後に子どもたちが寄ってくれる森の子ども図書も、明安小学校と有屋小学校の子どもたちが利用できるのかがどうか、私たちにとってはとても重要。寄ってくれるのであれば、狭すぎてスペースが足りない。逆に近場の子どもたちしか使えないとなるのも残念だ。子どもたちが平等に使えるようになってほしいと思う。そう考えると明安小学校がベスト。統合準備委員会にも参加しているが、放課後の子どもたちの流れが分からない。森の子ども図書や学童がどのように利用されるのか、どのようなバスの動きになるのかなどが決まらなると何も進まないと思っている。あと1年しかないので、私たちも準備を急がなければならない。早く方向性を決めてほしい。

阿部利広委員

昨年12月に文書で思っていることを書いたが、この場で方向を見つけるのは大変だ。書面での意見も集約した形で、事務局ではかなり強引というか、簡潔に方向性を示されたかと思う。一番は廃校になる各地域の意見をもっと吸い上げてほしいと感じている。点検や耐震補強の工事などで関わっているので、建築的な観点からは突っ込んで助言できると思う。有屋小学校の体育館は耐震化しているので避難所としても十分使える。地域にとっても大空間は有効なものだと感じている。

佐藤忠義田茂沢区長

田茂沢分校の解体について感謝する。田茂沢分校は様々な形で使わせていただいた。老朽化の面においても、これ以上地区では管理しきれなかったと思うので、更地にしていただいて良かったと思っている。色々な活動をしている中で、地区の人たちの考えや今後の持っていく方など、先のことが見えてくると思う。検討委員会での意見を集約して、行政でまとめて、大方の方向性は見えている。壊すのは簡単なので、新しい施設については、まずは使ってみるという考えも大切だと思う。中央公民館機能の移転を含めたシミュレーションを試してみたらどうか。色々な事をまとめながら進んでいくと思うが、今後の検討会の予定を伺いたい。

庄司紀一政策財政監

検討委員会については、設置要綱の4条において委員の任期は3月末までとなっていることから、検討会も3月で解散したいと考えている。今後は地域の住民や民間事業者など関係者を中心に協議していきたい。

今田裕蒲沢区長

田茂沢分校は更地にしていただいた。他の学校を考えてみると、例えば中田小学校でいえば冬場はどうするのか、有屋小学校は地域での活用できる規模なのか、明安小学校は比較的新しい施設だがどうするのか、などそれぞれの課題や状況があると思う。具体的に活用案がある施設については、積極的に進めてほしい。また、意見集約においては若年層の方の意見も聞くべきであったと思う。

沼澤道也町議会総務文教常任委員長

廃校活用策は教育委員会レベルではなく、町活性化にかかわる町全体の問題だ。民間活用と公的利用の2手段だ。当町の場合は、既存施設の活用という大きな課題があるので、公的利用も重視すべきだろう。民間活用で言えば、ある意味誘致企業のような考え方でも良いのではないかと思う。その辺を整理して進めてほしい。

中村忠行町議会総務文教常任副委員長

資料3 ページのまとめの中に、ランドデザインという言葉があるが、まさにこれがスタート地点になる考え方だと思う。多くの町民の皆さんが意見を出し合って集約するのが理想だが、現実的には、行政がある程度の方向性を示しながら進めていかなければならないと感じている。意見の中には、新庄南高校金山校の建物に言及されているものがあるが、現在存続の危機にある中で、今後建物をどうするかという話になると思うが、町で維持管理していくのは難しいと感じている。柔道のスポ少など、実際金山校を活用しているスポーツ団体もある。もし廃校となり解体された場合、利用者は困るのではないかと心配している。この検討会は廃校利活用がテーマであったが、町有財産の利活用問題まで考える良い機会となった。

栗田保則町議会総務文教常任委員

明安小学校は中央公民館機能ということで議論されているが、中心地から離れているため得策ではないと考えている。コロナ禍で首都圏企業との連携が注目されており、テレワークやサテライトオフィスでの利用は良い観点である。少子化の中で若い世代の移住定住に繋がる施設の利活用を模索すべきだ。廃校施設は町の貴重な財産であるが、長く活用策が見いだせないとなれば、維持経費がかかり増しする。消極的な意見かもしれないが、有利な起債を活用しての解体撤去もやむを得ないのではないかと考える。利活用を通して地域が活性化

するのが理想だが、順調にいくとも限らないだろう。

星川智子町議会総務文教常任委員

民間利用、それ以外ないという考えだ。公共のものとして使うことには賛成できない。この先、金山小学校、金山中学校が統合しなければならない人口規模になることも考えられる。そのことも考えて明安小学校、有屋小学校の利活用について検討する必要がある。来年4月に小学校が一つになる。廃校については、使い道が決まるまでどれ程の維持費がかかるかを試算しておく必要がある。他にも不要な施設がでてくることもあるだろう。そうなる解体も視野に入れるべきだ。私は最初から一貫してそのような考えだ。

柴田清正町議会総務文教常任委員

有屋地域に住むものとして有屋小学校のことを考えてみた。NPO法人かねやま電雪については私も関わっている。町の出身者が70歳を超えて空き家を活用した雪室や太陽光発電、小水力発電などにチャレンジしている。いずれは子どもたちに引き継ぐ考えが基本のようだ。かねやま電雪としては、無償であれば廃校を活用したい意向だ。有屋地域には、少年番楽や相撲、鼓笛隊などの独特の文化がある。文化の継承のためにも、廃校は活用できる。特に体育館は避難所としても有効だ。解体するにしても億の金額がかかる。地域の財産を残しながら民間に貸し出す。そういったことを考えていくべき。黙っていたら獣の住み家になってしまう。

須藤信一教育長

話を聞きながら、新庄市のことを思い浮かべていた。萩野学園を作るときに廃校となった3つの小学校の中で、旧昭和小学校が教育研究センターとして利用されている。会議などで何度も行っている。日常的にちょっと寄って使うという機能ではなく、会議やプラネタリウムなど目的がはっきりした使い方をされている。そういった意味では、場所の利便性よりも目的がはっきりしているという点で利用価値があるのだろう。そういった意味では、明安小学校は町の中心地から離れているが、子どもたちの放課後の活用で考えれば、良い機能を持っていると思う。中央公民館機能を考えると悩ましい。コロナ禍で学校の先生も苦勞されているが、その中でも新たな発想で様々な工夫をしている。私たちも新たな発想で廃校利活用をどうすべきか考えていく必要がある。

高橋久男板橋区長

当初より財政面から一方的に意見を述べてきた。物事を順序良く整理すると、本当にそれで良いのかと反省した。各小学校について、図面では理解したが、実際に入ったこともないため、自分の目で見て判断できていない。地域のことを何も考えずに発言していたと、検討

委員として恥ずかしい思いだ。委員の皆さんで現場を回って、施設を見ながら意見を述べたいなと思った。しかしながら、財政面が重要であることは間違いない。

栗田仁下中田区長

1回目の検討委員会が終わってから、最上管内の役場に問い合わせをして廃校の活用状況について調査した。最上町だけは廃校利用プロジェクトを組織していた。町で管理して、様々な利活用をしているようだった。また、鮭川村では更地にして村営の住宅を建てて、村外から来た人に3万円で貸しているようだ。廃校するにも金がかかるが、利用するにも金がかかる。どこも大変な課題を抱えながら、何とか活用しようと努力しているようだ。しかし、何も策がなければいずれは解体だろう。どうしても町で利用する意向となれば、廃校利用プロジェクトを立ち上げて、期間を決めて検討していくべきだと考える。

佐藤一男安沢区長

明安地域を代表して出席してはいるが、住民の総意ではなく、あくまで個人の意見であることをご理解いただきたい。学校の評議員をしているが、冬の状況を見て考え方が変わった。実際、学校の現場は、コロナ禍もあって先生方もかなり難儀している。1回目の検討委員会では、介護施設への転用を促しながら、事業を展開するのが良いと思っていた。意見書でも、地域再生計画を立てて、民間事業者が介護施設を運営することを提案した。しかし、金山町がオンリーワンの町づくりを謳っている以上、民間事業者を待っているのは遅いと感じた。やれることから考えると、半田委員が提案している子どもたちや地域のコミュニティの場という考えに賛同する。実行するには、町のリーダーシップが肝心だと思う。また、中央公民館機能を明安小学校に移した場合は、現在の中央公民館は解体するべきだろう。

正野賢一下野明区長

田茂沢分校は今年度解体、朴山分校は来年度解体予定ということで、思い入れのある校舎の解体を決断された地域の皆さんには敬意を表したい。明安小学校、有屋小学校、中田小学校の3校については、民間の活用がなければ全てを残し続けるのは難しい。そうなれば、最も新しい明安小だけ残して、有屋小学校と中田小学校は解体する考えもあるのかと思っていた。今回の資料を見て、有屋小学校はNPO団体での活用、中田小学校は防災資機材の倉庫という考えがあるようだった。現在の中央公民館を解体した場合の備品の保管場所としても中田小学校は活用できるかもしれない。明安小学校は民間企業からの問い合わせもあるので、連絡をとっていただいて話を詰めてほしい。子どもたちが使える施設、福祉施設としての利用価値もあると思うので、多目的な施設として総合的に考えていくのはどうか。3校とも残れば、災害発生時の避難場所としても活用できるだろう。

矢口一寿柳原区長

仕事で最上町に通っていて思うのが、予算規模の違いなのか、町の懐の深さが違うなど実感している。廃校について、民間活用ができれば良いのだが、できれば公的利用が望ましい。町として財政的にどのような年次計画を立てることができるのか。財政的にひっ迫していれば、解体するにも一気にはいかないだろうとも思う。地域の活動場所を最小限残してほしいという声もある。後々の維持管理、いずれは解体までと考えると地域ではできないわけなので、いっそのこと更地にした方が良いのかもしれないとも思う。5年後、10年後の地域の姿を想像すると、果たして子どもたちは存在するのかという懸念さえある中で、ネガティブには捉えたくはないが、現実問題として向き合っていかなければならない。廃校利活用問題も、今後のまちづくりをどういう方向性でもっていくのかを絡めて検討すべきなのではないか。解体するにしても、猶予があるとすれば、地域で活用できる期間をどこまで伸ばせるのか、その間どんな活用ができるのか。そういったことを町で議論して、示してほしい。

矢口卯之助下向区長

第1回の検討委員会の後に、これからは若い世代が主役ということで、有屋小に出向きPTAにアンケートをとった。その結果が資料にも載っている。地域の子どもたちと交流を続けるためにも、体育館だけは残してほしい。また、NPO団体については、落ち着いたら話を進めていきたいと考えている。

斉藤徹史委員長

簡単にまとめさせていただく。2校の廃校後については、すぐに結論出すのではなく、地域と行政との話し合いを継続していく。中央公民館機能の在り方については、来年度町で組織する専門委員の皆さんで検討する。また、検討委員会で集約した意見については、今後の利活用に十分に参考にされたい。

(2) 廃校利活用検討委員会の解散について

当初の予定通り3回の開催をもって3月末で解散としたい。

正野直弥副委員長

町として色々な意見を求めるときは、前提条件がないと皆さんの希望だけが先走って、枠からはみ出した議論になってしまう。今回でいえば財政状況など、一定の条件を示した上で議論を進めると、より発展的な議論になったのではないかと感じている。

庄司紀一政策財政監

ランドデザインとも言われる公共施設の在り方を示すことが重要である。どの施設を残

してどの施設を廃止するかなど、使われている施設とそうでない施設の区分けをこれからより進める必要がある。令和3年度は公共施設の在り方を見直す年としており、これからも使う施設、使わない施設などを整理して、町民の皆さんに説明し、同意を得た上で今後の進め方を示したい。財政状況はご承知のように厳しい。コロナという大きな壁を乗り越えていくために、公共施設をできるだけ抑えていくことも重要だ。町の運営経費を減らしていかないと財政健全化の道筋は立たないと考えている。

栗田伸一委員

金山小のPTA会長をしている。先日、明安小学校、有屋小学校の来期のPTA会長、副会長9名が集まって統合に向けてどうしようかという話をした。「地域の中の学校」が一番のテーマにしてやっ払いこうと意思統一を図ったところだ。廃校、統合となると暗くなりがちだが、学校を盛り上げていこうと動き出しているのて、地域の中での情報共有をお願いしたい。

庄司紀一政策財政監

皆さんの貴重な意見を基に、廃校の利活用について実行性をもって対応していきたい。